



第82期生修学旅行

第82期生修学旅行が、約350名の生徒と12名の引率団による県内最大規模で、12月8日(月)から12日(金)までの4泊5日の日程で実施されました。



本校の修学旅行は、「首里高生に求められる資質・能力の育成」を踏まえ、キャリア教育の一環として現役大学生が案内する「東京学生エスコート」の導入や鎌倉散策や浅草寺・仲見世通りの見学など、歴史と文化に触れる活動を実施。さらに、全日程を同一ホテルに連泊することで移動時間を短縮し、生徒の負担軽減を図りました。

修学旅行を通して生徒は見聞を広め、友情を深め、年明けの「3年ゼロ学期」に向けた良いスタートを切ることができたと確信しています。添乗員の日本旅行をはじめ、看護師の皆さま、引率の先生方本当にありがとうございました。



創立記念講演会

講演会後は生徒代表の知念翼さん(首里中)がお礼の言葉を述べ、赤嶺陽愛果さん(南風原中)・吉嶺悠さん(首里中)から花束贈呈されました。学長として極めてご多忙の中、後輩のために貴重なお話をお寄せくださった喜納育江先輩に、心よりお礼申し上げます。

学長の喜納育江先生をお迎えし、「未知の世界に挑み、親しむ」「海邦養秀」の精神で拓く人生」と題して講演いただきました。3つのターニングポイントを軸に、研究の視点、海邦養秀の精神、多様性への気づきなどが語られ、時間の経つのも忘れる内容でした。



国

学227年、一中45年の歴史を誇る首里高校では、社会で活躍する同窓生を講師に、毎年12月9日の創立記念日を心として創立記念講演会を開催しています。

今年は12月4日(木)に本校40期生で琉球大学



琉球新報教育賞



琉球新報教育賞は、教育現場で真摯に子どもたちと向き合い、意欲的な研究や創意工夫を重ねる教諭を顕彰するために創設された賞です。第8回となる今回は、本校家庭科の川満玲奈先生がその教育実践を評価され、他の7名の小・中・高の先生方とともに受賞し、12月11日(木)に琉球新報ホールで贈呈式が行われました。

川満先生は、家庭科教育を軸にクッキング部や家庭クラブなどの活動を通して生徒の興味関心を引き出し、実践的な学びを提供するとともに、全国大会上位入賞に導きました。また、他教科の先生方と連携し、探究心を育むカリキュラムを設計・実践した点が高く評価されました。

当日は、ご両親を始め、首里高校や県内の家庭科の先生方がお祝いに駆けつけ、キャリア推進部やクッキング部員からのサプライズ動画も披露されました。

1年理科野外実習

自然に対する興味・関心を深めるとともに、郷土の自然や環境保全について学ぶことを目的に、12月12日(金)1年生による理科野外実習が実施されました。



当日は心配されていた雨もあがり、ぽかぽかとした陽気の晴天に恵まれました。生徒たちは4団に分かれ、那覇から北部にかけての自然景観の車窓観察、東村慶佐次湾のマングローブ、名護市底仁屋に見られる嘉陽層と褶曲、そして恩納村安富祖の県民の森において野外学習を行いました。

普段の理科室での学びを、実際の現地での観察活動を通して深めることができ、科学的・探究的な資質・能力の育成につながったものと感じています。

本実習を企画・指導してくださった理科の先生方をはじめ、引率にあたられた1学年の先生方に、心より感謝申し上げます。

